

## 平成27年度 日本老年看護学会生涯学習支援研修 実践編【千葉】

開催日時 : 平成 28 年 3 月 20 日 (日) 9 時 45 分～16 時 00 分

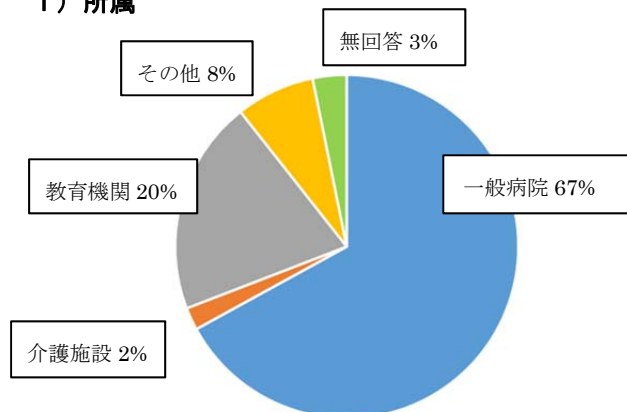
会 場 : 順天堂大学医療看護学部 24 教室

参加者数 : 100 名 (会員 60 名、非会員 40 名)

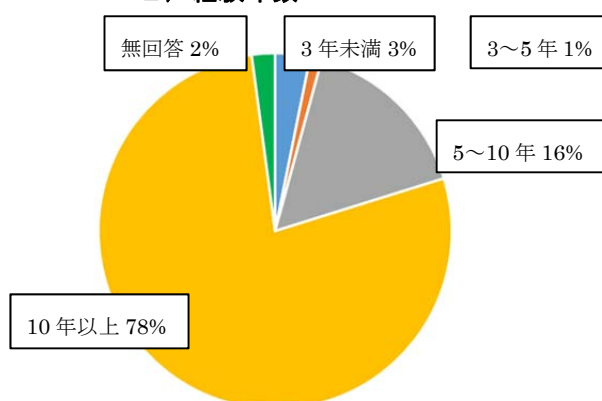
テーマ・講師 : 1. 認知症をもつ高齢者のアセスメント 諏訪さゆり氏 千葉大学大学院看護学研究科教授  
2. 物理的環境改善のためのアプローチ 湯浅美千代氏 順天堂大学大学院看護学研究科教授  
3. 人的環境改善のためのアプローチ 湯浅美千代氏 順天堂大学大学院看護学研究科教授

アンケート結果・感想 (回収数 94 枚 回収率 94.0%)

### 1) 所属



### 2) 経験年数



3) 研修会知ったきっかけ : 老年看護学会ホームページ 54%、学会からのメール 18%、同僚の紹介 12%

4) 受講動機 (複数回答) : テーマに関心があった 95%、講師に関心があった 46%、現場の問題解決の参考にするため 37%、認知症看護認定看護師単位の更新のため 21%、演習に関心があった 20.2%

5) 研修会は期待通りであったか : 期待通り 64%、まあ期待通り 25%、どちらでもない 4%、無回答 7%

6) 老年看護における看護師の生涯学習支援について : 非常に必要 86%、まあ必要 5%、無回答 9%

7) 今後も本学会の研修会に参加したいか : とても参加したい 73%、まあ参加したい 18%、無回答 9%

### 8) 主な感想・要望

内容がボリューム満点のため駆け足の内容となっていた講義がもう少しゆっくりだとよかった。

経験年数や立場が違ったので学びもあったが、グループワークが難しかったこともあった。

今日の学びを現場に生かせるよう生かす力とすることができると思う。講義、グループワークとも楽しかった。

現状を共有できた。発表者の発表内容に大いに刺激を受けた。自施設の質の向上につながりそうな内容だった。

### 9) 今後取り上げてほしいテーマ

高齢者の薬物療法、老年期うつ、せん妄リスクのアセスメントや予防・対処方法、認知症高齢者の終末期看護、意思決定、倫理的問題、家族支援、退院支援など

研修参加希望は多く、急性期病院の認知症看護について学習ニーズは高いことがわかった。しかし、演習 (グループワーク・発表) を行い、会場や参加者の満足度を考えると 100 名定員が上限と考えられた。

今回、基礎編程度の学習が済んでいる人を対象としたため、認知症看護について学習し、問題意識をもって実践している参加者が多い印象であり、グループ討議も活発に行われて参加者の豊かな意見により学習が深まっていた。

多忙な参加者や遠方の方にとっては半日研修の方が参加しやすいようであるが、3つの講義と演習 (グループワーク) を入れると 9 時 45 分から 16 時までの時間は必須で、かつ駆け足で進行せざるを得なかった。(企画担当者)